

※マタイ 22:37-38

「そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。」

●私たちの主への愛：

▶御言葉と向き合う姿(私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり[ピリピ1:9])

▶主の言葉に従い続ける姿(もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。[ヨハネ14:15])

▶他の信仰者を愛する姿(イエスがキリストであると信じる者はだれでも、神によって生まれたのです。生んでくださった方を愛する者はだれでも、その方によって生まれた者をも愛します。[1ヨハネ5:1])

※マタイ 24:42-44

「だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押し入れはしなかったでしょう。だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。」

○忠実な管理者として生きるために：覚えておくべき四つの原則

1. _____を覚えていること(14)

▶「財産を預けて旅に出る人」

▶「しもべたち」(デューロス)

「主人が奴隷に対して行うことは、それが不当であれ、怒りによるものであれ、自発的であれ、不本意であれ、不注意であれ、熟考の末であれ、意図的であれ、無意識であれ、すべてが裁きであり、正義であり、法なのです。」

パウロとテモテ：「キリスト・イエスのしもべであるパウロとテモテから」(ピリピ1:1)

ペテロ：「イエス・キリストのしもべであり使徒であるシモン・ペテロから」(2ペテロ1:1)

ヤコブ：「神と主イエス・キリストのしもべヤコブが…」(ヤコブ1:1)

ユダ：「イエス・キリストのしもべであり、ヤコブの兄弟であるユダから」(ユダ1:1)

※1コリント 6:19-20

「あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。」

※黙示録22:3-5

「もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあつて、そのしもべたちは神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。」

2. _____を覚えていること(14-15)

▶「預け」

「ご主人さま。私に五タラント預けてくださいましたが、ご覧ください…」(20)

「ご主人さま。私は二タラント預かりましたが、ご覧ください…」(22)

「まず第一に、このたとえから学ぶのは、信仰を告白するすべてのクリスチャンが神から何かを受けているということである。私たちは皆、神の「しもべ」であり、皆「タラント」を委ねられている。神の栄光を現すために用い得るものは、すべてタラントである。私たちの賜物、影響力、財産、知識、健康、力、時間、感覚、理性、知性、記憶、愛情、教会の一員としての特権、聖書を持つという恵み—これらはすべてタラントである。これらはどこから来たのか。誰の手がこれらを与えたのか。なぜ私たちは今のようなものであるのか。なぜ地を這う虫ではないのか。これらすべての問いに対する答えは一つしかない。私たちの持つすべては神から貸し与えられたものである。私たちは神の管理者であり、神に対して負債を負っている者である。この思いを深く心に刻もう。」(JCライル)

3. _____を覚えていること(16-18)

4. _____を覚えていること(19-30)